

イイ歯メーションNo. 17 (平成16年12月発行)

なして、じっちゃ、左手で歯磨きしているなよ～？

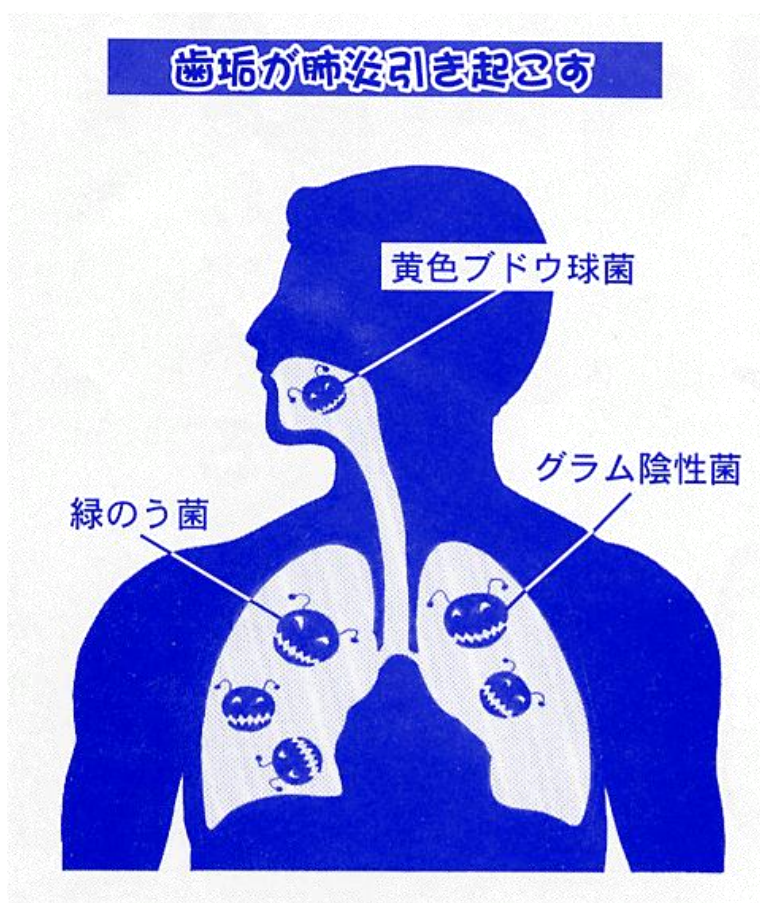
ある日、ゆうと君は洗面所に歯磨きをしに行きました。そして、妙な光景を見ました。それは、おじいちゃんが慣れない左手で歯ブラシをもってゴシゴシと歯を磨いていたのです。実は、おじいちゃんは先日、脳梗塞で倒れ病院を退院したばかりでした。おじいちゃんは、がんばっていましたが、どうもうまくできないみたいで途中でやめてしまったようです。心配になってゆうと君は、おじいちゃんに聞いてみました。「ねえ、じっちゃ。右手なにしちゃったなよ～、なして、じっちゃ、左手で歯磨きしているなよ～？」「この間倒れてから、体の右側がうまく動かないんだ。だから、やれねども、左手でやっているんだ。」とおじいちゃんは答えました。「ふうん、んだなが～。」なんかわかったような、わからないようなまま、ゆうと君は返事をしてそのまま忘れてしまいました。

なして左手で磨いているなよ？



それからしばらくたった後、ゆうと君は、歯の定期検診のため歯医者さんに行きました。その時に、おじいちゃんのことを思い出して先生に聞いてみました。「この間、うちのじっちゃんが左手で歯磨きしていたんだけどどうまぐみがげねって途中でやめてしまっていたよ。どうしたらいいんだべなあ〜。」と聞いてみました。「そうか、おじいちゃんはちゃんと歯磨きをやってくれていたのか。ゆうとはおじいちゃん思いなんだなあ。えらいなあ おじいちゃんがこないだかかった脳梗塞なんかの後遺症で片側に麻痺がでた場合、そちら側に食べカスなんかのこりやすくなるんだ。口の中に食べカスを残したまま寝ると、寝ている間にバイ菌が増えてしまうんだ。そして、虫歯や歯ぐきの病気になりやすくなる。さらに、一番怖いことは、知らず知らずにそのバイ菌がのどのほうに落ちて肺に入ってしまうことがあるんだ。」と教えてくれました。

「したらよ〜、どうなるなよ〜。」ゆうと君は興味が出てきて聞きました。先生は怖い顔をして答えました。



「お年よりたちが、しょっちゅう熱を出したりするのはこれが大きな原因だとも言われているんだ。なくなる一番の原因も肺炎なんだよ。これを誤嚥性肺炎だとか不顕性肺炎とかよんでいるんだ。ゆうとがおじいちゃんの右手になって手伝ってあげられるといちばんいいんだけどなあ。今度いっしょにおいでよ。やり方を教えてあげるから。」おじいちゃんにもっと長生きしてもらいたいゆうと君は、歯医者さんからの帰り道に「今度、じっちゃんと一緒に歯医者さんについて歯磨きのやり方を習ってみよう。」とひとり言をつぶやきました。

かかりつけの歯科医をもとう

- ★定期的に歯の健診を受けよう
- ★年に一回は歯石をとってもらおう



☆各市町村の成人歯科検診（30才、40才、50才）

は休祭日歯科当番医にて、休祭日も受け付けています☆

歯科医師会ホームページアドレス：www.yutopia.or.jp/~yoda/